

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103946
法人名	有限会社 ベターライフ・U
事業所名	グループホーム四葉のクローバー
所在地	松山市石風呂町甲1014番1
自己評価作成日	平成26年7月7日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎日の業務の中で散歩を取り入れています。悪天候や外出の予定、もしくは特別な事情があるとき以外は毎日外へ出て、なるべく日光に当たる事が出来る様にしています。毎月イベント企画を行っており、母狩りやぶどう狩り、リンゴ狩り等のリクエスト企画。夏祭りや、もちつき、豆まき等の年中行事。フラダンス・フラメンコ鑑賞会への参加、音楽セラピーの実施など様々な行事を行っています。毎週日曜日の昼食は、利用者様の希望献立の食事を作って提供しています。医療施設は併設されていませんが、医療（提携の医療機関）、看護（提携の医療機関、グループ内の看護師）との連携体制も築かれています。また、多くの勉強会の実施や内外の研修への参加を行い事業所のレベルアップに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

毎週日曜日の昼食は、利用者順番に希望を聞きながら献立を決めており、利用者はご自分の順番が来るのを楽しみにされている。午前のティータイム時には、コーヒー、ジュース、ココア等、数種類の中から利用者様がご自分で好きな飲み物を選ぶことができるように支援されている。
 そうめん流しや花火大会等、行事ごとにはご家族と一緒に楽しめるよう案内しており、ご家族の方も準備等を手伝ってくださるようだ。年末にはクリスマス会と家族会を併せて行い、ご家族が利用者と一緒にクリスマスの装飾や写真立てを作って楽しめるよう企画された。又、ご家族だけで話し合う時間を設け、その後、職員が加わり意見等をうかがうようにされた。ご家族からは、転倒の心配や同性介助についての意見が出されたようだ。
 町内の高齢者が行方不明になった際には、ご家族から直接相談を受け、管理者は、ご家族に付き添って警察へ出向き、近隣の介護事業所にも応援要請し無事発見でき、事なきを得た事もあったようだ。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム四葉のクローバー

(ユニット名) 1階ユニット

記入者(管理者)

氏名 濱崎 秀巳

評価完了日

平成26年7月7日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念カードを全職員が常時携帯し、朝礼時に唱和している。理念を共有し、統一した支援につなげるよう努力している。	
			(外部評価) 「健康・愛情・幸福・希望」を事業所理念に掲げ、利用者、ご家族、職員の安全・安心・安らぎのある生活を目指し、日々取り組まれている。さらに、理念を具体的に実践できるよう、事業所全体の目標や各ユニット・各職員毎にも、目標を毎年決めて取り組まれている。目標は年度末に評価を行い、次年度の目標設定につなげておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 散歩や庭掃除の際、近隣で挨拶したり顔なじみの方もおられ、お花を頂いたりすることもある。地域の小学校から依頼があり3カ月に1度、交流がある。放課後や休日に遊びに来てくれる子供たちもいる。	
			(外部評価) 町内の清掃活動には、法人代表者と管理者が参加して地域の方達と一緒に活動されている。小学校の授業の一環で年4回、児童の訪問があり、利用者と一緒に歌や踊りを楽しんだり、マッサージ等をしてくれる。居間には、児童が描いた利用者の似顔絵や手紙が飾ってあった。このような訪問がきっかけとなり、数名の子どもが遊びに来てくれることもあるようだ。秋祭りには、子供神輿や青年神輿、団地の神輿が順に入り、水軍太鼓の披露もある。利用者は、神輿に手を合わせたり、触れたりして涙する方もあるようだ。町内の高齢者が行方不明になった際には、ご家族から直接相談を受け、管理者は、ご家族に付き添って警察へ出向き、近隣の介護事業所にも応援要請し無事発見でき、事なきを得た事もあったようだ。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で資料を配布したり、プロジェクターを使用してホームでの日常生活映像の紹介や、外出・行事ごとの様子や支援の方法を紹介している。近隣住民が行方不明で相談に來られ場合は、近隣施設のと連携を活かし搜索活動を行い地域に貢献している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 毎回、利用者様・家族様にも参加して頂き、プロジェクターでホームでの日常生活や外出、行事の様子や支援を報告し、ご意見や要望をお伺いしサービス向上に努めている。</p> <p>(外部評価) 会議には、地域行事等を通して、交流のある近所の方が、数名参加されている。ご家族には、各ユニット1名ずつ参加を依頼し、利用者と一緒に参加できるよう工夫されている。会議では、事業所の現状や空室状況、行事報告を行い、意見交換されている。年度初めには、年間行事計画について説明したり、時期によっては感染症、脱水症予防をテーマに注意を呼びかけている。又、職員研修の資料を配布して、認知症ケアの取組みについて発表したり、新人職員も参加して自己紹介された。管理者は今後もさらに、「参加者の本音を引き出し運営に反映して、事業所にできる社会的役割も果たしていきたい」と話しておられた。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議時に包括支援センター、市介護保険課、社会福祉協議会等の方に参加頂いている。現状報告し、意見・要望や情報提供を頂いている。GH連絡会に参加し、連携を深めている。</p> <p>(外部評価) 公民館で行う地域包括支援センター主催の認知症の講演会時には、事業所から薬品会社を紹介したり、認知症治療薬についての情報提供や資料作りにもかかわり協力された。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ミーティング時に身体拘束について学び、拘束がないかお互いに注意し合っている。玄関は年間を通じて開放している。ユニット入口の扉には呼鈴をつけ、離設時に職員が気付かない事のないようにいつも所在確認している。</p> <p>(外部評価) 毎年、系列事業所と合同で、利用者が行方不明になったことを想定して捜索訓練を実施されている。今年6月の訓練は、予告せず実施された。その結果、発見までに数十分かかり、利用者の居場所確認や見守り体制を課題として挙げて、今後の対策について話し合われた。管理者は、利用者の捜索ファイルを「第三者でも分かりやすい内容にまとめた」と話しておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング時に資料で学習し、言葉での虐待がないか、入浴時に身体的なアザがないか、入居時に異変がないか等の確認をしている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ミーティングや研修で学んでいるが、現在必要と認められる方はおられない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長、管理者が時間をかけ説明を行っている。改正時には文書で通達した後、説明を行い理解・納得を頂いている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議・ケアプラン更新時・面会時等には意見や要望をお伺いし、今後に生かせるようにしている。	
			(外部評価) 3ヶ月毎にユニット別に便りを作成してご家族にも送付しており、行事・外出の様子や社内研修・スタッフ紹介等を載せておられる。又、毎月、利用者個々の担当職員が、個別に身体状況やエピソード等を一筆箋に手書してご家族への書類に同封されている。そうめん流しや花火大会等、行事ごとにはご家族も一緒に楽しめるよう案内しており、ご家族の方も準備等を手伝ってくださるようだ。年末にはクリスマス会と家族会を併せて行い、ご家族が利用者と一緒にクリスマスの装飾や写真立てを作って楽しめるよう企画された。又、ご家族だけで話し合う時間を設け、その後、職員が加わり意見等がうかがうようにされた。ご家族からは、転倒の心配や同性介助についての意見が出されたようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎日意見や相談できる環境にある。意見や提案はミーティングで話し合い、反映に努めている。	
			(外部評価) 今年度は、法人全体の取り組みとして、職員を新人、中堅、管理者・リーダーに区分し、年間を通じて毎月、勉強会を実施された。新人職員の勉強会では、介護に関することだけではなく、社会人としての心構えについてもカリキュラムに組み込み、「皆で一緒に仕事をするために必要なこと」等についても学ばれた。新人職員からは、「利用者の気持ちの理解が深まった」等の感想もあったようだ。又、地域包括支援センターが主催する新人職員の勉強会では参加者同士で思いを共有することもできて、リフレッシュにもなっているようだ。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者が休日希望や有給を考慮し、シフトを組んでいる。朝礼時に施設長や管理者も参加し、職員の勤務状況も把握している。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部から講師を招き全職員が経験に応じた内部研修に参加し、スキルアップに努めている。外部の研修を受ける機会は多く、参加者は報告書を提出している。次月ミーティングで報告し情報を共有しケア向上に努めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) GH連絡会や業界研修に参加し、同業者と情報交換をしネットワークづくりや交流を広げサービス向上に努めている。また、外部の研修に参加時に積極的にネットワーク作りを行っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用開始前に十分お話を伺い、見学して頂いている。アセスメントをもとに生活しながら気づいた事を記録し、全職員が情報を共有することで一人ひとりにあったケア・支援に努めている。入居後も困っていないか話しやすい環境整備に努め傾聴し、不安が軽減できるような関係づくりに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前に困っていることや要望をお伺いし、可能な限り意向に添えるよう心掛けている。担当者を設け、本人様や家族様のお話を傾聴し、信頼関係を築くよう努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人様と家族様の意向や要望をお伺いし、ケアプランを作成し支援している。出来ること出来ないことを見極め、必要なサービスを利用できるよう支援している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人様の意向もお伺いしながら、日常生活の中で出来ることをお手伝いして頂き、他者との関係を築けるよう努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ケアプラン作成時や面会時、家族様の要望やお話をお伺いしている。時には、一緒にコーヒーを飲んだり散歩に出掛けたりされるご家族もおられる。月末に近況報告や行事予定をお知らせする事で、行事への参加も増え、共にご本人を支えていく関係を構築している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) いつでも立ち寄りやすいよう玄関は開放し、面会時間も決めておらず気軽に面会できる環境づくりを心掛けている。家族様の了解のもと電話や手紙での交流を継続し、関係が途切れないよう支援に努めている。利用者様の中にはお友達が来られ、利用者様の面倒を見て頂いている様子も見受けられる。 (外部評価) 利用者様がご家族や知人に年賀状や暑中見舞いを出せるよう、職員は一緒にハガキを買いに行ったり、又、関係を続けられるよう、ご本人が書いた後に事業所の住所を書き添えて投函する等して支援されている。知人の来訪時には、職員はお茶を出して居室でゆっくり過ごせるよう気を配っておられる。時には、利用者さんとタンスの整理をしてくれて、必要な物があれば次回に買ってきてくださる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者様同士の関係を把握し、座席や散歩のパートナーも考慮している。お手伝いやレクリエーションで孤立せず利用者様同士が関わり合い、支えあう場面や微笑ましい光景もある。トラブル発生時は職員が間に入り、不愉快な思いが残らないよう、孤立しないように支援している。問題発生時は、職員間で情報を共有している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 施設長は退居後も相談や支援に努めている。退居後も担当者がお便りを送ったり面会に伺ったりしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人様の全ての思いには添えないが、意向や希望はお伺いし、出来る範囲の希望に添えるよう努めている。思いを表出されない方には、日々の関わりの中で思いをくみ取れるよう心掛けている。 (外部評価) 日々の介護記録に、趣味、楽しみ、ご家族への思い等も書き込むようにして、個々の意向の把握につなげておられる。職員は、利用者一人ひとりが、夢中になれることや得意なことを探りながら、役割を見つけて支援されている。園芸が得意な方は、朝夕に野菜や花の水やりができるよう支援しており、整理することが心の落ち着きにつながる方は、衣類の整理や洗濯たみができるよう支援されている。お孫さんに会える日を楽しみにして、塗り絵や貼り絵の作品作りに励んだり、お菓子を買って行って用意する方もあり、それぞれの思いを大切に支援されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントやサマリーから生活歴や生活環境を把握し、家族様からサービス利用の経過や趣味をお伺いしている。職員間で情報を共有し、その人らしい生活をしていただけるよう努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 個人別日課表を作成し、共通ケア・個別ケアを職員間で共有し支援している。心身状態は日誌・日報に詳しく記録・申し送りをし、現状の把握に努めている。体操や散歩は、その日の体調に応じ調整している。出来ること・出来ないことを全職員が把握・共有し、統一した支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人様や家族様から意見や要望をお伺いし、プランに反映している。モニタリングは毎月5日までに実施し、介護計画は通常3か月毎に見直し、担当者は全職員の評価や検討すべき課題を集約し、カンファレンスを行い現状に即した介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、ご本人やご家族の希望をお聞きしながら、「前向きに努力できる目標」を見極め、利用者それぞれの担当職員が中心となって作成されている。モニタリングは毎月行い、カンファレンス時に皆で話し合っまとめておられる。計画の見直しは、基本的に3ヶ月毎に実施されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の様子やケアプランに沿った支援の実践・結果・気づき・家族様からの意見・要望等を個人記録に記入し、職員間で情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 本人様の状況に応じて、本人様・家族様・ドクターと相談し、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 他施設での音楽会やフラメンコ・フラダンス等に参加したり見学を楽しんでおられる。運営推進会議で地域の方にお祭りや行事の情報を頂いている。小学生との交流やアロマセラピーやフラワーセラピーを心待ちにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関をかかりつけ医とされる方・入居前からの医療機関をかかりつけ医としておられる方も2週間に1回、受診・往診があり、緊急時は24時間体制で対応頂いている。他病院受診は情報提供を行い適切な医療を受けられるように支援している。	
			(外部評価) 協力医療機関の定期受診は職員が同行し、他の医療機関をかかりつけ医とする方の定期受診は、ご家族が同行するようになっている。体調変化時には、すべての利用者の方が協力医療機関で診てもらえるようになっており、又、毎年、定期健診を受けられるよう支援されている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) ホーム内や系列施設に看護師がおり、気軽に相談・指示が受けられる環境にある。利用者様が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時は情報提供書を作成し、安心して治療が受けられるよう支援している。病院関係者とは情報交換し、情報を共有し状態把握に努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 契約時に重度化や常時医療行為が必要になった時の方針については説明しご理解頂いている。状態変化がみられる時は早い段階からかかりつけ医や家族様と話し合い、方向性を検討している。職員は情報を共有し、支援に取り組んでいる。系列施設に有料老人ホームがあり、そちらをご案内させて頂くこともある。	
			(外部評価) 利用契約時、「事業所は医療機関の系列ではなく、看護師も1名しかいないため、重度化や医療行為が必要になった場合には、終末期の支援が行えない」ことについて説明されている。ご家族によっては介護施設を申し込んで順番がきたら入居する方もあるようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ミーティング時、全職員が急変時の対応・AEDの使用法・心肺蘇生の訓練等を定期的に行っている。月次ミーティングでDVD教材を使い看護師から応急手当や初期対応について学んでいる。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回、防災訓練を行い全職員が真剣に取り組んでいる。地域の方にも参加して頂き協力体制を築いている。防災グッズや備蓄品(食料品・医薬品等)も用意をしている。	
			(外部評価) 年2回、消防署の立ち会いのもと、夜間の火災を想定し、発煙も行い、避難訓練を実施されている。「予測不可能なことにも対応できるように」と、消防署からアドバイスがあり、避難訓練の内容を打ち合わせず実施された。災害に備え、水、食料品、避難用ロープ、照明器具、医療品等も備えており、定期的に消費期限を確認されている。津波の際には、事業所の屋上を一時避難場所としている。職員が地域の自主防災訓練に参加されている。	地域の方達と一緒に避難訓練を行う等の機会も作り、災害時に備えて地域との協力体制作りもすすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 自尊心を傷つけないような声掛けを心掛けている。馴れ馴れしい口調にならないよう気を付けているが、不適切な対応があればお互いに注意し合える環境作りに努めている。	
			(外部評価) 毎週日曜日の昼食は、利用者順番に希望を聞きながら献立を決めており、利用者ご自分の順番が来るのを楽しみにされている。午前のティータイム時には、コーヒー、ジュース、ココア等、数種類の中から利用者ご自分で好きな飲み物を選ぶことができるように支援されている。職員は、利用者に何か行ってもらうような場合は、「お願いする」という気持ちで声をかけることに心がけておられる。お気に入りのお人形を布団に寝かせてお世話する方がおり、職員は、ご本人の子育てのお話にじっくり耳を傾けておられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中で自己決定できる環境作りを心掛けている。自己決定が難しい方には選択肢を作り、ご本人が選べるような支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 散歩や入浴は一人ひとりのペースや体調を配慮し、支援している。入浴日以外の午後は思い思いに過ごしておられる。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 髭剃りの声掛けやご自身で整容出来ない方は支援している。入浴時や外出時は本人様の希望を伺い一緒に選び準備するよう支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 畑で採れた野菜や旬の食材を提供するよう心掛けている。日曜日の昼食は希望メニューの日とし、順番に好みをお伺いしている。一人ひとりに応じた食事量や食事形態で完食できるよう支援している。野菜の下ごしらえや台拭き・食器拭きを日課にされている方もおられる。下膳は出来る限りご自分でして頂いている。	
			(外部評価) 食事は、昼・夕食分を週3回、業者からの配食を利用し、その他は、職員が献立を決めて手作りされている。調査訪問時の昼食は、手作りの日で、法人の畑で収穫した野菜を使ったインゲンの胡麻和えやきゅうりの漬物等も食卓に上っていた。食事前には、口腔体操を行い、配膳後は、個々がお好きなタイミングで食事を始めておられた。職員は、目の悪い方には、献立や食材の説明をしながら介助し、手の不自由な方には、軽めの食器を使用し、ご自分の力で食べられるよう支援されていた。利用者は台拭きや下膳、時には、ゴボウのさがき等の食材の下ごしらえをされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 週3回管理栄養士によりカロリー計算された宅配食材を利用している。そのメニューを参考に、施設でメニューを考えたり、旬な食材でメニューにアレンジを加えたりしている。薄味を心掛け、体重の増減や体調変化に応じた食事量や食事形態を提供している。水分補給の時間にも常時、麦茶が飲める環境をもうけ水分の確保を支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ご自身で歯磨きできる方は声掛けし、介助が必要な方も、出来る限りご自分で磨いて頂き、仕上げ磨きの支援をしている。義歯の方は週1回義歯洗浄を行い清潔保持に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を活用し、一人ひとりに合った排泄パターンを全職員で共有しトイレ誘導を行っている。便秘傾向の方は、朝食後はゆっくりと座って頂き、腹部マッサージを実施し排便を促している。	
			(外部評価) 職員は、「朝食後に腰を浮かしていたらトイレのサイン」等、一人ひとりの表し方を把握し、タイミングを見ながらトイレに誘導して支援されている。職員は介助時には、目線を外して、ご自分でできることはなるべくご自身で行えるよう支援されている。トイレのドアの表示は、車いすの高さからも見やすい位置にあり、「使用中」「あき」の札が掛けられてあった。夜間、特に目が見えにくくなる利用者が安全にトイレを使用できるよう、居室からトイレまでの動線に2ヶ所、足元灯を点けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 朝食時はヨーグルト、10時の水補時は牛乳を使ったカフェオレを毎日提供している。朝食後はゆっくりトイレに座って頂き自然排便を促している。一人ひとりに合った散歩や水分補給を行い、便秘傾向の方には腹部マッサージを実施し、便秘予防に取り組んでいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 曜日、時間帯は決まっているが、体調や希望に可能な範囲で対応し、気持ちよく入浴して頂くよう努めている。	
			(外部評価) 午後からが入浴の時間となっており、利用者個々に週3回を目安に支援されている。入浴する曜日は個別に決めているが、一番風呂の希望が複数あり、職員は、重ならないよう曜日を替えて対応したり、それでも重なる場合は、ゆずり合えるよう説明等して納得いくような支援に努めておられる。居室の壁面に、「入浴する曜日と着替等の準備物」を大きく書いた紙を貼り、職員と確認しながら準備することが、気持ちの良い入浴につながっている方もいる。季節毎に、菖蒲湯や柚子湯を楽しんだり、お気に入りの質感のボディタオルやご自分専用のシャンプーを使用する方もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 午前中は体操や散歩で体を動かされ、午後は思い思いに過ごしておられる。ご自分で移動が困難な方は意向をお伺いし、休んで頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬マニュアルを作成し、マニュアルに沿って服薬支援を行っている。処方箋を読み、薬や症状の変化の情報は記録に残し、申し送りをしている。全職員が情報を共有し、服薬の支援と症状の変化に努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに応じた役割やお手伝いをして頂いている。希望メニューのノンアルコールビールを楽しみにされたり、花の手入れやカラオケ、時代劇を観たりされ気分転換を図って頂けるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) お天気の日には、全員が散歩に出掛け気分転換を図って頂いている。月に1回程度、車で外出をしたり、交代で買い物に外出されている。全ての方の希望には添えないが、出来る範囲で希望に添えるよう支援している。	
			(外部評価) 日常的に、事業所周辺を散歩できるよう支援しており、希望によって、日用品やおやつや買い物の買物等、個別に出かけられるよう支援されている。毎月、計画を立てて全員で外出する機会も作っており、利用者の希望をお聞きしながら四季折々に花見、いちご狩りやぶどう狩り等に出かけ、お弁当やおやつを食べたり、外食することもあるようだ。恒例行事となっている釣り堀のできる「せせらぎ亭」への外出時には、釣った川魚を塩焼きやバター焼きの定食にしてもらい楽しまれたり、食後には周辺を散策される。又、興味のある方数名でキックボクシングの観戦に出かけたこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お小遣い程度の現金を管理している方は、外出時や買い物に同行された時、希望の物を購入されている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば自由に電話や手紙のやり取りができるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関には花やオブジェを飾り、季節を感じて頂けるように支援している。リビングには利用者様が作ったカレンダーや、ちぎり絵等を掲示している。遮光効果のあるレースカーテンで光を調節したり、温度や湿度にも配慮し、居心地よく過ごして頂けるよう工夫している。</p> <p>(外部評価) 玄関前には、小学生がプランターにパンジーの苗を植えてくれており、定期的に手入れもして利用者を楽しませてくれている。玄関には、七夕の笹飾りをイメージしたスクリーンを掛けおり、数日後には、利用者の願い事や俳句の短冊を吊るした笹飾りが飾られる予定のようだ。居間の壁面には、外出や行事の際の写真を多数飾っており、手作りカレンダーや今日の献立も掲示されていた。居間の窓からは、登下校する小学生や散歩やジョギングする人等、人の往来の様子が見え、話題にもなるようだ。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 気の合った利用者様同士でソファに座りお話しされたり、自席で過ごしたり、廊下側の椅子に座ったりと思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 使い慣れたものや仏壇を置いている方もおられる。フラワーセラピーの作品を飾ったり、外出時の写真や家族様の写真を飾ったりされ、本人様が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>(外部評価) 仏壇を持って来ている方は、ご自分で水を供えてお世話されている。テレビを置いて、ご自宅から持って来られた戦争に関する映像のDVDや、録画した高校野球の放送を見る方もおられる。思い出の写真やお孫さんが描いた絵を飾ったり、「フラワーセラピー」時につくったフラワーアレンジメントや、自作のちぎり絵、書き初めの作品を飾っている方もおられた。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) 居室は入口に表札と模様の違う暖簾があり、ご自分の居室がわかりやすいように工夫している。トイレは廊下からでもわかりやすいような表示をし、玄関・廊下・トイレ・浴室等には手摺が設置され、安全かつ自立した生活が送れるよう環境整備に努めている。</p>	